

Life with wood



木Point 講演会 Wood utilization and global environment

「地球温暖化対策として注目される木材利用促進」

「世界最古」「最大」「最高」の歴史的水造建築が、それぞれ「法隆寺」「東大寺大仏殿」「東寺五重塔」であるように、日本人は様々な物を木で造り、巧みな木の使い方によって独特な「木の文化」を築き上げてきました。それは長年にわたって築き上げた世界に誇れるものです。しかし近年、木を使う事は環境破壊、地球温暖化の原因と言われる様になってしまいました... 本当にそうなのでしょうか？ いえ、それは大きな間違いなのです、木を使う事は環境破壊などではなく、実は環境保全であり、環境に与える負荷が少なく温暖化対策としても有効なのです。木を使う事が環境保全？ 温暖化対策？ どうして？ 東京大学准教授「井上雅文」先生がその謎を解説、そして木材利用の未来を語ります



特別講師

東京大学 アジア生物資源環境研究センター
准教授 井上 雅文 先生 Masafumi Inoue

1993年 京都大学農学研究科博士課程林産工学専攻を修了
同年 博士学位「木材の横圧縮大変形の永久固定」

1994年1月 京都大学助手(木質科学研究所→生存圏研究所)

2005年1月 東京大学助教授(東京大学アジア生物資源環境研究センター)

2007年4月 東京大学准教授(東京大学アジア生物資源環境研究センター)

2007年11月 内閣府上席政策調査員(総合科学技術会議)

専門:木材加工学、環境材料設計学

研究内容:

- ・圧縮木材の原理、製造、利用に関する研究
- ・木材、竹材の軟化特性と塑性加工(大変形加工)に関する研究
- ・木質構造用接合具(例えば竹釘)に関する研究
- ・木材環境教育に関する研究
- ・バイオマス利活用およびその持続可能性に関する研究

2月19日(土)

16:30 ~ 18:00

どなたでも聴講出来ます

木ポイント展示棟にて開催 **参加無料**です

■ お問い合わせは ☎ 0573-25-8014迄

〒509-7203 岐阜県恵那市長島町正家613-10
協同組合東濃地域木材流通センター

